

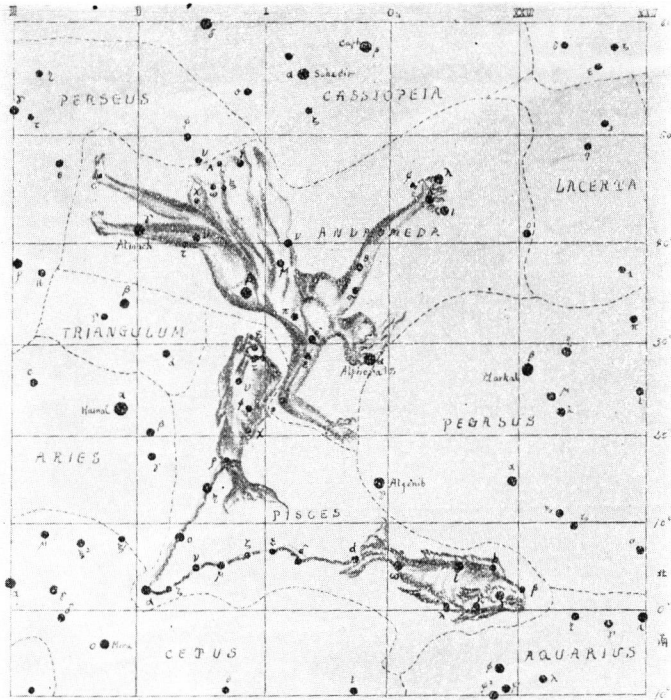
I—太陽と月 (天空の明暗)

日付	日出 (星座)	日没	日付	夜半月齢	月出 (星座)	月没
日	時分	時分	日	日	時分	時分
1	6 18 (てんびん)	5 3	1	23.4	0 17 (し >)	13 45
6	6 22	4 59	2	24.4	1 14	14 11
11	6 27	4 55	3	25.4	2 11	14 36
16	6 32	4 51	4	26.4	3 09 (をとめ)	15 01
21	6 37	4 49	5	27.4	4 09	15 29
26	6 42 (へびつかひ)	4 47	6	28.4	5 12	16 04
翌1	6 46 (さそり)	4 45	7	29.4	6 17	16 41
			8	0.8	7 24 (てんびん)	17 22
			9	1.8	8 32 (さそり)	18 15
			10	2.8	9 36 (へびつかひ)	19 16
			11	3.8	10 33 (いて)	20 24
			12	4.8	11 21	21 34
			13	5.8	12 02 (やぎ)	22 45
			14	6.8	12 38	—
			15	7.8	13 10 (みづかめ)	23 54
			16	8.8	13 39	1 02
			17	9.8	14 09	2 08
			18	10.8	14 39 (うを)	3 14
			19	11.8	15 12	4 21
			20	12.8	15 49 (ひつじ)	5 28
			21	13.8	16 32	6 34
			22	14.8	17 20 (うし)	7 36
			23	15.8	18 13	8 33
			24	16.8	19 10 (ふたご)	9 24
			25	17.8	20 09	10 08
			26	18.8	21 08 (かに)	10 45
			27	19.8	22 06	11 17
			28	20.8	23 03 (し >)	11 45
			29	21.8	—	12 11
			30	22.8	23 59	12 36

II—天象

日	時分	天象
2	11	金(北13')と木と合
2	14 48	火(北4°49')と月と合
3	1 1	海(北4°31')と月と合
3	14	水星が内合
4	20	水星が昇交點
5	0	水(南58')と金と合
7	2	水(南18')と木と合
7	2 39	水(北6°06')と月と合
7	2 42	木(北6°22')と月と合
7	11 42	金(北6°10')と月と合
9	11	水星が近日點
11	15	火(北49')と海と合
12	8	水星が停留
14	14 43	土(南3°13')と月と合
15	6	土星が東廻
19	8	金星が外合
19	11 45	天(南5°59')と月と合
19	22	水星最大離角(西19°35')
21	3	水(北1°23')と木と合
30	10 48	海(北4°50')と月と合

III—十一月の星座

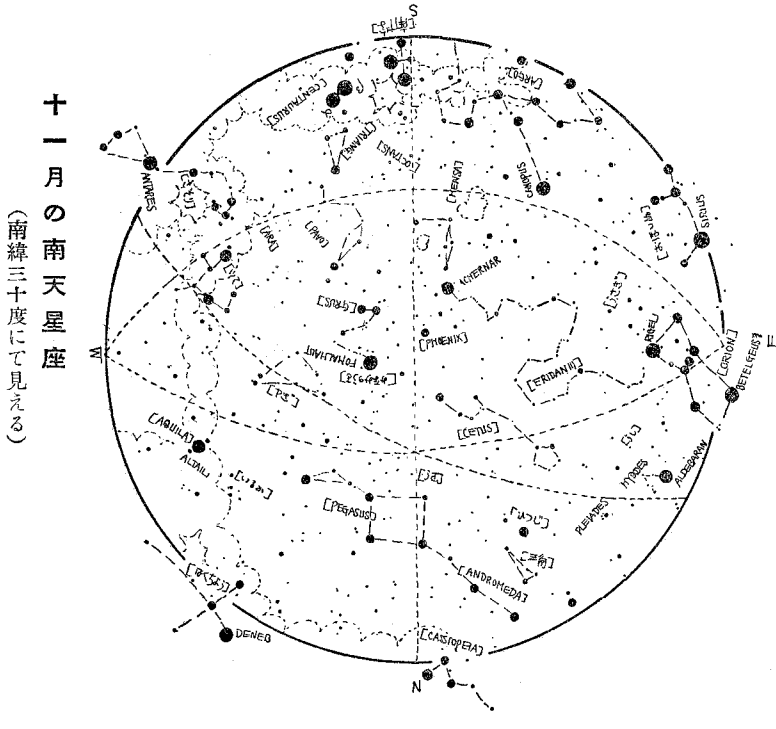


此の月の天界はなんと云つてもアンドロメダの美貌に盡きる。

魚座 雙魚の西と北に逃れんとする像である。

女神アフロダイテ(ヴィーナス)と其の子エロスが或日を河畔に逍遙して居るとき突如巨人タイフオンが襲つたのである。逃れなければならぬ神々は身を水魚に變じて危機を脱した。黄道第十二宮。西魚の銀鱗の下に春の彼岸が眠つて居る。

アンドロメダ座 母カシオペヤ女王が其の美しさを海の精女達とと競つた爲海神に其の娘アンドロメダを供すべき破目に陥つたのである。そして此の美姫は海岸に両手を鎖がれて海魔を待たなければなかつたのである。二等星 α が巖に繁縷するアンドロメダの頭、 β が腰部に、 γ (三重星)が脚部に輝いて居る。晴夜彼女の腹部に近くお伽話のランプの燈を見る娘に我々の肉眼に星霧 M31が映する。此の Nebula は Hubble の分類によれば Sb で表はされる渦状星霧である。此れに附隨して M32 星雲 (E2) が楕圓の光茫を放つて居るが之は肉眼の及ばないところである。……雲が出なければいいが。



倉敷天文臺通信 (九月)

上旬のある日の午後、神戸の I 氏が来訪された。夕方の急行の時刻まで、太陽寫眞、變光星寫眞、寫眞乾板測定等専門的諸項目について、實に御親切な御意見を伺ふことが出来て、大へん参考になった。氏は實際家であつて、どんな問題についても一通りの意見を持ち、常にひそかに私を後援して下さるのである。

稀有の大風のため、天文臺では、板垣が傾き、門がこわされ、宿舍の屋根瓦がいくらか吹きとばされ、観測室の屋根が風力で少し開いて雨がわづか入つたが、機械に支障は全くなく、これ位では損害ともいへない程度ですんだ。

關西各地の大災害をよそに、23 日夜は中秋名月の夕を記念した。講演會は自然流れたが、觀望會はいつもの如く賑つた。岡山に居られる窪田君とは三年半振りに面會をたのしんだ。

今月は悪天候で收穫は少なかつた。(荒木健兒)